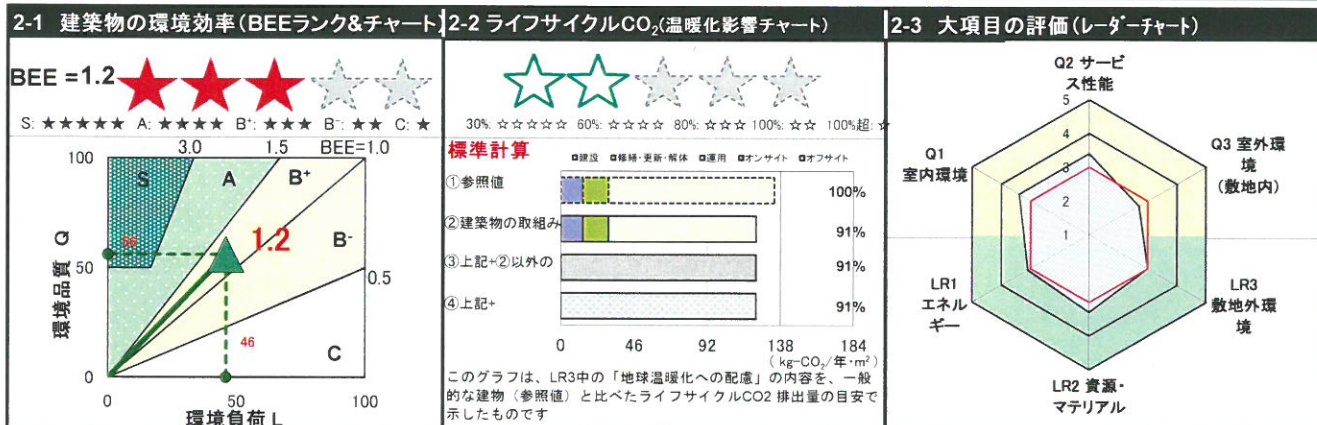
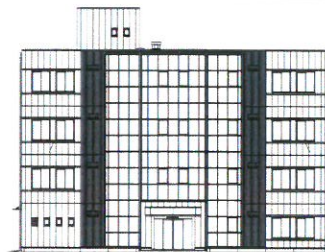


CASBEE®-建築(新築)

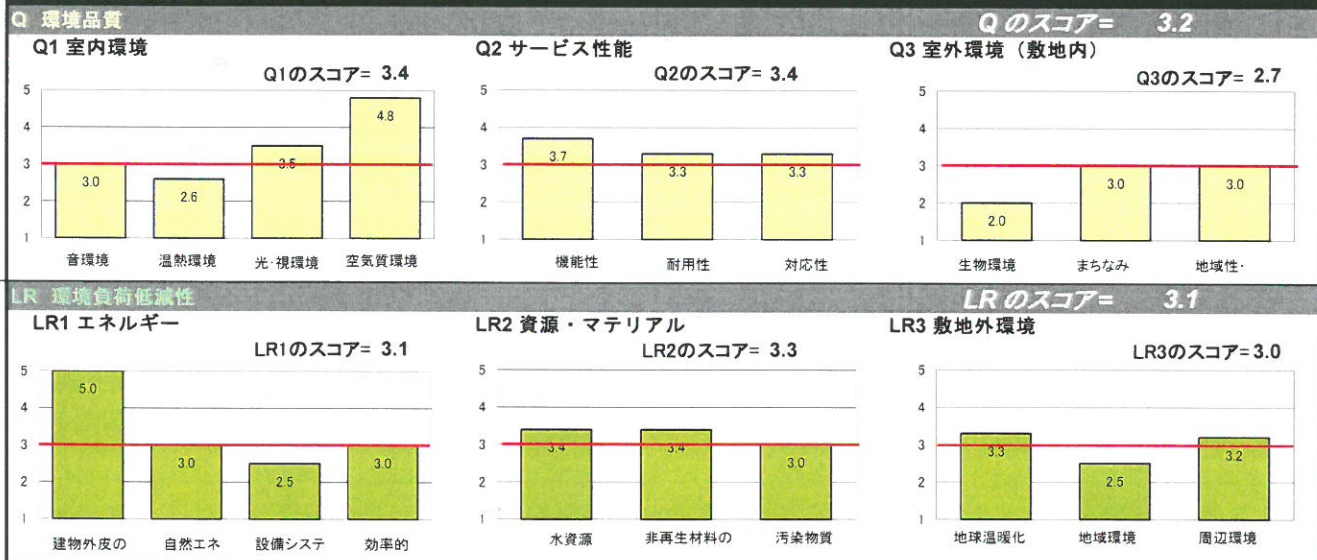
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	鳥取市環境事業公社社屋新築工事	階数	地上4F	
建設地	鳥取市秋里三島756-1・756-6・765	構造	S造	
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	120 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2019年6月 予定	評価の実施日	2017年8月22日	
敷地面積	6,121 m ²	作成者	高村 和也	
建築面積	699 m ²	確認日	2017年8月28日	
延床面積	2,662 m ²	確認者	霜村 将博	



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合			その他
断熱性の高い建材を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。			0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)	
居室の窓面積を広くすることにより、昼光の取り入れ、自然換気性能に優れている。	耐用年数の長い外装材・内装材を採用し、建物の長寿命化を図っている。	外構緑化を行っている。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	
LED照明器具、ヒートポンプエアコンを採用。	自動水栓、節水型器具を採用している。	屋外広告物照明の設置をなくし、周辺への光害に配慮する。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される